

中学校に地域の母子がやってきて「赤ちゃんふれあい体験」を行う国東市の思春期保健福祉体験学習は、地域、学校、行政の連携によって実施されています。「現場の声」をお聞きすべく、関係者のみなさんに体験学習についての思いを語っていただきました。



みなさんの体験学習の関りや、体験学習についての思いをお聞かせください。

郷司さん 私は旧武蔵町採用の保健師で、平成27年よりこの体験学習の市の担当者をしています。武蔵町の時も「赤ちゃんふれあい体験」自体は行っていましたが、現在の国東市の形とはずいぶん違いました。国東市への合併後、国見町方式の体験を市内全ての中学校で実施するようになり、国見町の時もできていなかった「中学校内でのふれあい体験」が学校側のご理解で実現し、今の国東市の体験学習はさらに充実したものとなりました。みなさんのご協力に感謝しています。

清原さん 私は国東中の出身ですが、私が中学生の時はまだこの体験学習はありませんでした。今回、市の保健師さんからお声かけしていただいて、息子を連れて初めて参加しました。私は中学生の時、職場体験で地元の保育園に行ったのですが、その時私が抱っこした子どもが中学3年生になっていて、体験学習で私の子どもを抱っこしてくれました。見ていて本当に嬉しくなりましたね。こうして温かい気持ちがあつながつていくんだなと思いました。

国広さん 私は家庭科教師ですが、今安岐中1年目で、その前は国東中に7年、さらにその前は国見中に6年いました。この体験学習には10年以上関わっています。国見中の時に初めてこの



医療保健課 母子保健係 参事兼係長 郷司 典子さん

体験の輪が循環すれば、国東市の未来は明るいと信じています。

体験学習に触れて「すごく良い取り組みだな」と思いました。一般的には「乳幼児ふれあい体験」というと保育園や幼稚園などに行つて子どもと触れ合うことが多いと思いますが、中学校内での実施はあまり例がないと思います。

「この体験学習のどのようなところが良いと思われませんか。」

清原さん 参加したお母さんも赤ちゃんも楽しめる場所ですね。中学生が私の子どもを「可愛い、可愛い」と言ってくれるのが嬉しくて。中学生は私に色々な質問をしてきて、みんな積極的に私の子どもと触れ合ってくれました。私自身がこの体験学習に母親として参加して楽しかったです。たぶん、うちの子どものも楽しかったんじゃないかな。中学生にとっても、赤ちゃんやお母さんと楽しみながらしっかりと触れ合える時間は貴重だと思います。

国広さん 大学教授の松田先生の講義は、体験

の導入部に欠かせません。「命ってすごいんだ、奇跡的なことなんだ」ということを認識した上で母子との触れ合いに臨むので、深く学べ、理解できます。これは国東市にしかない、大変良い部分。また、この体験学習に行政が関わってくれているのがとても心強いです。学校だけでは地域の母子と接点が少なく、学校で体験学習をしたくても声かけが難しい。健診や相談などで地域の母子と信頼関係を築けている行政の働きかけがあるからこそ、お母さんの協力が得られ、この体験が実現していると思います。

郷司さん 地域の母子と間で触れ合うところが良いと思います。赤ちゃんの温もりと重さを感じ、抱っこした時に自分に泣いたり笑ったりして反応してくれる「生の体験」ができます。お母さんと赤ちゃんの触れ合いを見ることもできるので、自分がいかに愛されて育ってきたかもよくわかります。体験学習後のアンケートを見ると、親へのありがたさを感じ、自分や他

自分の今と未来を肯定し、命を大事にしてほしいです。



安岐中学校 家庭科教師 国広 智恵子さん



人を思いやる気持ちが中学生に芽生えてきていることがわかります。

「体験学習を経験した中学生へメッセージをお願いします。」

国広さん 赤ちゃんを抱っこしている時のみなさんは、赤ちゃんを慈しむような笑顔がとても素敵でした。この体験学習で命のぬくもりを感じ、色んな人の支えがあつて生きていることを実感したのではないのでしょうか。自分の今を肯定し、未来を肯定して、自分の命、人の命を大事にしてほしいです。あと、男子は妊婦体験をしてきついい思いをしたことでしょうか。君たちにはぜひイクメンになつてもらいたいですね(笑)。



国東中学校の体験学習に参加 清原 明子さん・碧人くん(6か月)

中学生には「子育ては本当に楽しい」ということを伝えたいです。

郷司さん この体験学習を受けたみなさんは、きつと命を大切にできる素晴らしい大人になつてくれると思つています。体験学習のことを思い出して、将来はぜひ国東市で子どもを育ててほしいですね。そして、次は親として赤ちゃんと一緒に体験学習に参加して、中学生に色々教えてあげてほしいです。こうした体験の輪が循環していけば、国東市の未来は明るいものになると信じています。

清原さん 中学生の多感な時期でのこの経験は、きつと将来に役立つはず。中学3年生といえは、進路を考える頃。私は保育士をしています。体験学習に参加した中学生が子どもに関わる仕事に興味を持つてくれたら嬉しいです。最後に、中学生には「子育ては本当に楽しい」ということを伝えたいですね。日々子どもの成長が実感できて、みんなが笑顔になれる。わが子は最高に可愛いですよ。